

科目	公共	単位数	2	週時間数	2	年次・コース・組	2年次全クラス
使用教材	『高等学校 公共』(教育図書) 『高等学校 公共 ワークノート』(教育図書) 『フォーラム 公共』(東京法令出版)						

目 標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を探究する活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
-----	--

身につけてもらいたい力

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準 	ステップ3 現代の諸課題を捉えて考察し、選択・判断するための概念や理論を説明できるとともに、倫理的主体などとし活動するために必要となる情報を適切にかつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方などを活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断して自分の意見を持ち、合意形成を視野に入れながら話し合いをしている。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、自ら学んだことを基に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
	ステップ2 現代の諸課題を捉えて考察し、選択・判断するために、手掛かりとなる概念や理論を理解したうえで、諸資料から情報を適切に調べている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本原理を活用して、事実を基に考察し公正に判断している。	現代の諸課題の解決に向け、選択・判断の手掛かりとなる概念や理論を基に、自ら情報を調べようとしている。
	ステップ1 現代の諸課題を捉えて考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用して考察している。	現代の諸課題に関心を持ち、選択・判断の手掛かりとなる概念や理論を自ら学ぼうとしている。
評価方法	授業時の観察 定期試験 課題レポート	授業時の観察 定期試験 課題レポート	授業に取り組む姿勢や意欲 ワークノートや課題レポートへの取り組み ルーブリックでの自己評価

※この評価基準(目標)により評価しますが、各単元の目標や難易度によって達成度が変わってきます。

それらを考慮しながらA、B、Cの評価をし、またそれを基に5段階の評価がつきます。

授業の形態、方法

最初に本時の課題を提示し、全体で課題解決のために思考しながら学びを進め、その過程において、ペア学習・グループワーク等を取り入れ、主体的・対話的な学びを目指す授業を実施します。

担当者より

学習を通じて、現代社会の課題に対する様々な見方・考え方があることを理解し、その複数性の中で、自分で考えたり、対話を通じて合意形成を目指したりする経験を通して、「公共的存在」としての能力を養うことを目指します。様々な社会問題を考えるテーマ学習を設定し、主体的・対話的な学びを通して、自らが社会参画者であることの自覚を深めることを期待します。

学習計画

月	単 元 名	予定時数	学 習 の 内 容 と ね ら い	実施時数
4	第1章 公共の扉 公共的な空間を作る私たち	20 (5)	【内容】○人は一人では生きられない○人はどのようにつながるのか○自由と正義の実現を目指して○対話から生まれる公共○日本の公共思想 【ねらい】社会に参画する自立した主体とは、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現できるようにする。	
5	第1章 公共的な空間における人間としての在り方生き方	(6)	【内容】○功利主義と義務論○水俣病を考える○地球温暖化問題○誰が医療を支えるのか 【ねらい】行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが重要であることを理解できるようにするとともに、思考実験などを通して人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現できるようにする。	
6	第1章 公共の扉 公共的な空間における基本的原理 (前期中間試験)	(9)	【内容】○生徒会予算をどう分配するか○意見が分かれたときにどう決めるか○民主政治の歴史○日本国憲法の三つの原理○基本的人権の尊重○大学入試と男女差別○なぜ女性医師が日本では少ないのか○表現の自由とヘイトスピーチ 【ねらい】人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など公共的な空間における基本的原理を理解できるようにし、公共的な空間における基本的原理について、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現できるようにする。	
7 ・ 8	第2章 現代社会の諸課題 主として法に関わる事項	5 (5)	【内容】○法と社会○多様な契約○消費者の権利と責任○日本の司法制度○国民の司法参加 【ねらい】「法」に関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現できるようにする。	
9	第2章 現代社会の諸課題 主として政治に関わる事項(1) (前期期末試験)	15 (8)	【内容】○選挙と政治参加○公正な世論の形成○国会と内閣○地方自治○国家主権と領土○安全保障と防衛○21世紀の世界情勢○国際社会と日本 ○テーマ学習「日本の若者の投票率はなぜ低いのか？」○テーマ学習「国民投票は本当にベストな方法か？」○テーマ学習「紛争解決のために国際法は有効なのか？」○テーマ学習「憲法9条と日本の安全保障をどう両立させるか？」○テーマ学習「憲法前文から考える国際社会の中の日本」○テーマ学習「SDGsと私たちの生活はどう関係しているんだろう？」	
10	第2章 現代社会の諸課題 主として政治に関わる事項(2)	□	【ねらい】「政治」に関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現できるようにする。	
11	第2章 現代社会の諸課題 主として経済に関わる事項(1) (後期中間試験)	19 (8)	【内容】○職業選択○雇用と労働○労働者の権利○財政の役割○租税の仕組みと国債○少子化と社会保障○市場経済の役割と限界○金融のはたらき○日本銀行と金融政策○グローバル化と経済統合○格差是正と多文化主義 ○テーマ学習「AIの進化は仕事をどう変えるか？」○テーマ学習「都会で働くか、地方で働くか？」○テーマ学習「メンバーシップ型かジョブ型か」○テーマ学習「財政支出削減のため水道を民営化すべきか？」○テーマ学習「財政支出削減のため水道を民営化すべきか？」○テーマ学習「コンサートチケットの不正転売は防げるか？」	
12	第2章 現代社会の諸課題 主として経済に関わる事項(2)	(11)	【ねらい】「経済」に関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現できるようにする。	
1	第2章 現代社会の諸課題 主として情報に関わる事項	6	【内容】○つながりっぱなしの私○災害時の情報発信と受信 【ねらい】「情報」に関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現できるようにする。	
2 ・ 3	第3章 持続可能な社会へ (後期期末試験)	(6)	【内容】○社会研究の方法○演劇で表現する○地域社会と共に学ぶ○バリアフリー社会の実現を目指して○SDGs実現のために私たちができること 【ねらい】持続可能な地域、国家、国際社会を担う主体として、課題を見出し、これまで学習してきた公共的な見方・考え方を働かせ、課題解決にむけて協働して取り組めるようにする。公共の学びが、知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成にとどまらず、主体として社会に参画する姿勢にまでつなげていくことを目指す。	
合計時数		65		